# P.M東京支部ニュース

第5号

一九三三・四・一五発行
東京市淀橋区
上落合一ノ四八一
日本プロレタリア音楽同盟
東京支部書記局

## 一九三三年のメーデーを斗へ!!

我々は国際プロレタリアートの集中的斗争の日メーデーを迎へる。日米対立の一層の激化、欧洲に於ける帝国主義諸国間の衝突の切迫、ドイツの革命的危機等によって特徴づけられる国際ブルジョアジーはその政治的経済的矛盾の唯一の逃げ口をソヴエート同盟攻撃、中国分割、中国ソヴエート圧殺に求めてゐる。社会主義五ヶ年計画の全き勝利の上に、第二次五ヶ年計画で階級の具体的清算をめざしてゐるソヴエート同盟は今や国際プロレタリアートの斗堡の力強い後だてとなってゐる。ブルジョアジーは自己の死滅を救ふためには、その敵であるソヴエート同盟体制を破壊し、労仂者農民の革命的斗争をあらゆる横暴で圧迫せざるを得ない。

日本帝国主義は何をしてゐるか。自己の極度の矛盾を国内の人民大衆の搾取と圧迫の強化並びに中国の植民地化で解決しやうとあせってゐる。彼等の残虐な警察的テロルは我等の指導者、同志岩田、小林を虐殺した。革命的労仂者農民の逮捕、拷問、投獄は公然と行はれてゐる。一方社会ファシストを使って非常時を名とした「メーデー反對」「无長国民行進」「単独メーデー」等によって、プロレタリア戦列の分裂を企図してゐる。

かゝる重要な時期に、吾がP・M東京支部は、如何にメーデーカンパを戦はねばならないか。支部は、現在、かって無い程、力が弱まってゐる。多くの同盟員は生起する重要な斗争に無関心を示し、又公然と機関の決定をサボった。執行委員会の中にすら自己の責任を回避する委員がある。一つの集会、研究会、演奏のための練習さへ大きな努力なしには持ち得ない状態にある。度々のニュースに見る様に、サークルはほとんど欠ひ組織的活動に対して同盟員は熱意を持たず無関心を示してゐる。P・M結成以来、最も活動的であった移動隊は全く沈滞しきってゐる。この他、我々は多くの支部弱まりの詳細について数へあげる事が出来る。東京支部はP・Mの基軸を為す最大の支部である。東京支部の発展なしにP・Mの拡大はあり得ない。かゝる重大な時期に際して東京支部のメーデーカンパの斗争は同盟活動のすべての立ち後れを活発なる革命的活動によって克服する事、日常活動における停頓的日和見主義的態度の革命的克服でなければならない。メーデーカンパ斗争は活発な斗争の飛躍へのモメントとして斗はるべきである。

### 全同盟員諸君!

次に本部の指令に基いて、メーデー目指しての斗争方針を提示する。全同盟員は討論を巻き起し、方針を具体化せよ。

### ★組織活動

まづ部会の開催を斗ひとらねばならない。模範的な活動を展開した中部地区グループの経験を部の活動に生かし、中部地区は真先に目標工場への創意性ある仂きかけを具体化せねばならない。

上海反戦会ぎ支持委員会をサークルを中心として結成する事を斗はねばならない。

コップ出版物を読む事をアッピールし、コップ指導部の指示した方針に基いて配布網を確立しなければならない。全同盟員はメーデーを期して一人残らず読者となれ。

### ★移動隊の活動

執行委員会は一週三回、目ざまし隊と合同で研究会を持つ事を決ぎした。移動隊員は研究会への出席を全的決意を持って守れ。本部指令に示された、正しいアヂプロは隊の活動、—経営、労仂者街に於ける敏活な、創意あるアヂ・プロ活動、目標工場への突撃—等はこの最も初歩的な規律の厳守なくしては斗ひ得ない。現在、全同盟に欠けてゐるのはこの決意の実行への努力なのだ。

支部員はアヂプロ隊員となれ!

### ★教育活動

本部教育係りとの連絡の下に本部ニュースに示された研究会を具体化せよ。部長、同志××はその先頭に立って、犠牲的に斗争しなければならない。

### ★基金活動

出版基金三百円カンパのしめきり五月一日はせまった。全同盟員は割り当てられた出版基金を積極的に、書記局へ出せ。

### ★創造活動

新しいメーデー歌の作製のため小歌劇完成のために努力せよ。それらの作曲の持ち込み、最も効果的な発表は歌ひ手及びアヂプロ隊員の責任だ。

我々はメーデーに至る期間に四・一六記念日を迎へる。メーデー準備斗争は××制××テロルに対する一切の政治犯人の即時釈放のための斗争と結びつかなければならない。

メーデー斗争は上半期に於ける全斗争の総決算であり同時に八・一反戦カンパへの第一歩である。戦争と革命の中で斗はれる一九三三年のメーデーの示威に全同盟員は参加せよ。我等の指導部コップのスローガンはこうだ。

企業、部落内に於ける日常斗争を激発してメーデーに備へよ!メーデーへ!戦争と革命の期に於けるメーデーへ!!

帝国主義戦争反対!

ソヴエート同盟、中国革命の擁護!

満洲及中国からの即時撤兵!

忠君愛国主義に貫かれた文化反動の打倒!

[illegible]一切の政治犯の即時釈放!!

プロレタリアートの国際的連帯万才!

## 各部報告

### —組織部—

部長が拘留されてゐるために、部全体活動が一層、困難になって来た。たゞ中部地区のみは、新同盟員を獲得し本部及び支部の機関に仂き手として送ってゐる。中部地区のみが目標工場を設定し仂きかけの仕事を具体化しようとしてゐる。組織部は中部地区の活動を中心に、組織的に建て直さねばならぬ。（書記局）

### —教育部—

活動全くなし。

### —企劃部—

二月のプロキノとの共同公演も両同盟の力（あらゆる方面に）の不足のために不可能となり、三月十八日——廿日迄、プロットの小林氏追悼公演に参加出演（コーラス團中の学生班）する事になってレパートリもそろへてゐたが企劃部と書記局のレンラクが悪かったり、出演者達の練習の不完全のための又全のため、又目的のこのカンパに必要な「追悼の歌」「マルクスの歌」の上演禁止の理由によってはたせなかった。三月廿日の夜に布施辰治氏イアン会にP・Mは芝居の伴奏としてコーラスを、同氏のソロと共に出演する事が出来た。前売切符のうれ行きは非常にわるく、責任額五十枚中わずか二、三枚の非精力的な結果になった。この様な一般状勢の前売り企劃部はもっと計画的に責任部署をきめて、はたすべきだった。

四月の活動はメーデー斗争のプランにもとづいてめざまし隊と共力してアヂ・プロ活動に全精力を向け行く筈だ。

**プロレタリア音楽2号発行**
二十セン

## 財政部 三月会計

| | | | |
|---|---|---|---|
| 入金 | 同盟費 | 二・八四 | |
| | 前残金 | ・二二 | 合計 三・〇六 |
| 出金 | 通信費 | 二・四四 | |
| | 交通費 | ・五二 | |
| | 雑費 | ・二八 | 合計 三・二四 |
| | 差引 | マイナス・一八 | |

## 移動部

執行委員会に於いて決定された移動隊のメンバー。

山本・原・鎌田・小野・新島・河野。

（移動部長中野が私的理由で、しばらく活動を退いてゐたが、再び活動に復帰する事になった）之に同志・中野を加へる。

火・木・土・午后六時から劇場に歌を練習して、めざまし隊と共同で研究会を持つ。

## メーデーを目指して再び合唱団の主体を盛り直せ！

吾々のプロレタリア音楽に対する熱意は何時何処にあっても変る事はない。プロレタリアの戦ひの手としての合唱団のメンバーなら猶更の事だ。吾々は前号ニュースで練習の不振を訴へ、その対策として学生のグループと突撃隊とその他に一つのグループとの三つで練習を別ける事を提案し実行した。そして吾々の努力にも拘らず、その結果は甚だ不成績だ。唯学生のグループの練習が毎週行はれてゐるのみである。何故依然としてコウなのか、速かにこの様な状態を正しい方向に向けなければならない。

先月プロットの『沼尻村』公演に際し支部執行委員会はコーラス出演を決議し、そのために学生グループの動員を決定した。此の時までに出演可能と考へられたのは学生と二・三の突撃隊員のみであった。そこで練習は活溌に開始されて活気を呈して来た。ところが我に当日になってグループの中に單なる個人的な感情の行き掛りから出演を拒否する者が出たので止むを得ず中止せざるを得なかった。之は後に直ぐ自己批判されたが、この様な事で合唱中止せざるを得なかったのは合唱団として残念至極だ。尚も検閲によって『マルクスの歌』も『追悼の歌』も禁止された事も理由の一つであったが、検閲の事はさて置いて、この場合他のメンバーが少しも練習して居なかったので、いざと云ふ場合の役に立たなかったらうと思ふ時、吾々は果して何時如何なる時でもプロレタリアの歌手としての任務を忘れてはゐないだらうか。たとへ練習が或られる日にしても或はそれに参加出来ないにしても各自新しい作品をドシドシ消化して行く様に努力しなくてはならない。今吾々の中心は移動音楽隊に集中されてゐる。メーデーを目指して再び合唱団の主体を盛り直せ。

## 創作班

★創作活動なし。

予定。

オペラ「激る若葉」

女性の覚醒の過程をテーマにその斗争を扱ったもの 台本を目下メザマシ隊の同志たちが執筆中。

★研究会。

三月末、左の曲目の批判を行った。

追悼の歌（吉原曲）二月二十日（山城曲）マルクスレーニン万才（山城曲）マルクスの歌（原曲）笹刈り（和田曲）

批判の成果は左の様に分擔して機関誌に発表する事になった。

追悼の歌――原太郎

マルクスの歌――吉原澄子

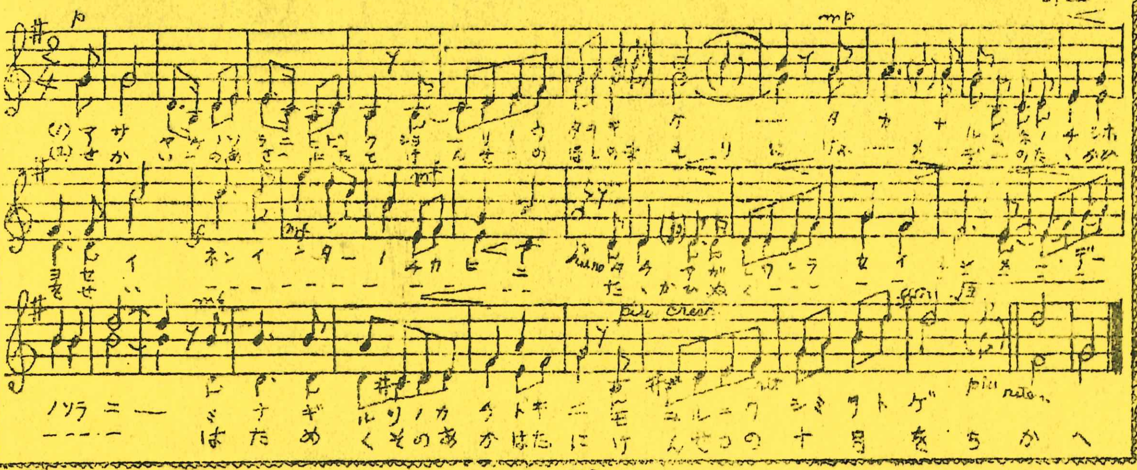
二月二十日

マルクスレーニン万才 ↓ 山辺眞 宮嶋三

## 若者の歌

作詩 代田央

作曲 和田節造



## ハーモニカ班

長らく沈黙してみたハーモニカの沈黙をやぶる事が委員会で問題となりメンバーをはっきり決定した。

吉屋・山本・青木・鎌田・舟村・小野

## 書記局より！

執行委員会は最近に東京支部所属の整理を行ふ。アドの変った者は必ず書記局へ通知せよ。またしようそく不明の同志達について、知ってゐる事のあるものは書記局へ報告してくれ。

書記局は二ヶ月ぶりにニュース五号を諸君に送る。ニュースの批判を送れ。今後、どんどん小さくともせいぜい出して行くつもりだ。

支部員は機関誌『プロレタリア音楽』発行のための、製本、及びプリントずりの付き手となる事を申し込め。

## 読め！プロレタリア文化

## ★我等の「前哨の歌」を

経営の中に、ピクニックに、あらゆる集会に持ち込め。

No.3 前哨の歌 第一集

[illegible]

―定価五セン―

近日発行！

切手で申しこめ。

前哨の歌 No.2。

追悼の歌

マルクスの歌

同志小林の労農葬の歌

三・一五の歌

同志はたほれぬ

―定価三セン―

## 犠牲者を救援せよ！

我々の愛する同志福田は市ヶ谷刑務所に入れられてゐる。諸君は手紙を書いて彼をはげまされいせよ。

同志赤松は三・一三以来、千駄ヶ谷署に拘留されてゐる。彼に煙草を、シャツを、金を差入れせよ。

## 委員会について。

最近我々は委員会を本部と合同で持って来た。あまりに多くの欠員があるからだ。財政係りとして同志藤村が上げられた事を報告する。各専門部は何處も欠員だらけだ。常任書記、及び企劃部員、その他の部署をすい選し、又自ら[illegible]希望せよ。